

1 人権尊重を基盤とした学校づくり — 学校教育の重点 —

自分らしさを発揮し、共に生きていこうとする子どもの育成

人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実

- 差別の不合理性について認識を深め、人権獲得の歴史と生きざまに学ぶ人権学習を充実させる
- 参加・協力・体験的な学習の充実を図り、自他を大切にす実践的態度を育成する

子どもの感性や人権感覚を育む人権教育の深化

- 自尊感情を高め、豊かな感性や人権感覚を育む取組を進める
- 人と人が豊かに関わり、多様性が認められ、自分らしさを発揮することのできる仲間づくりを進める

教職員の人権感覚・指導力の向上

- 日常的に人権感覚を磨き合う教職員集団
- 教職員人権研修の充実

人権を尊重する生き方のロールモデルとなる教職員

- ・一人ひとりを尊重する教職員の姿  
(子どもを見るまなざし、声のかけ方、気持ちや意見の受け止め方)
- ・自身が受け入れられていると感じることのできる物的・人的環境の整備

★人権研修資料の例



「子どもの声を聴く」



「多様な子どもを支えるために」



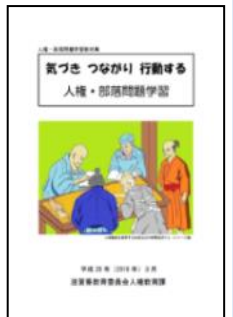
「誰もが安心して暮らせる社会をめざして」



「性の多様性を考える」



「インターネットによる人権侵害」



「気づき つながり 行動する 人権・部落問題学習」教材集

子どもの自己実現を図るための連携の強化

- 困難な状況にある子どもの生活と学ぶ意欲を支える取組を進める
- 課題や取組の方向性を学校・園・所、関係機関、家庭、地域社会で共有し、支援体制の充実を図る

2 人権尊重と共生の社会づくり — 関係機関・団体等との協働 —

すべての人にとって住みやすい社会の形成

- 多様な学習機会の提供
  - ・滋賀県人権教育研究大会（守山大会）の充実および、関係機関との連携の強化
  - ・各種学習会開催に向けた支援
- 課題解決に向けた取組
  - ・地域総合センター等の活動支援
  - ・新規学卒者の公正採用にかかる取組